

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公民・倫理	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	人間尊重の精神と生命に対する畏怖の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己を確立し、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付け、課題を考察できる。
使用教科書 副教材等	高等学校 改訂版 倫理(第一学習社) 改訂版 倫理ノート(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
趣旨	青年期における自己形成について関心を高め、人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める意欲と課題を発見し、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	他者と共に生きる主体としての自己の確立について広く課題を見だし、多面的・多角的に良識ある公民として主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現することができる。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、自己の確立に資するよう活用することができる。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関わる基本的な事柄を、他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解することができる。
評価割合	25%	25%	25%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
前期	第1章 青年期の課題と自己形成 第2章 人間としての自覚 第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚	・授業での行動観察 ・課題提出	・定期考査等 ・課題提出
		12.5%	12.5%
		資料活用の技能	知識・理解
		・授業での行動観察 ・定期考査等	・定期考査等 ・課題提出
		12.5%	12.5%
後期	第4章 現代に生きる人間の倫理 第5章 現代の諸課題と倫理	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
		・授業での行動観察 ・課題提出	・定期考査等 ・課題提出
		12.5%	12.5%
		資料活用の技能	知識・理解
		・授業での行動観察 ・定期考査等	・定期考査等 ・課題提出
		12.5%	12.5%

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1章 青年期の課題と自己形成 1 よく生きることを求めて 2 青年期の課題	4
	5	第2章 人間としての自覚 1 ギリシャの思想 2 キリスト教	12
	6	3 仏教思想 4 中国の思想	
		前期中間考査	1
		
		第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1 日本の風土と伝統	14
	7	2 外来思想の受容	
	8	3 町人意識のめざめと庶民思想	
	9	4 西洋思想との出会い	
		前期期末考査	1
		
	前期の学習のまとめ	3	
後期	10	第4章 現代に生きる人間の倫理 1 人間の尊厳 2 近代の科学革命と自然観	16
	11	3 自由で平等な社会の実現 4 人間性の回復と主体性の確立	
	12	後期中間考査	1
		
		5 現代の思想と人間像 6 生命への畏敬と社会参加	5
	1	第5章 現代の諸課題と倫理 1 生命の問題と倫理課題 2 環境の問題と倫理課題 3 家族・地域社会と倫理課題 4 情報社会と倫理課題	10
	2	5 宗教・文化と倫理課題 6 国際平和と人類の福祉	
		後期期末考査	1
		
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

倫理では、自らの思索を論理的に表現する活動を多く含みます。従って、日々の授業ではレポートを書く、日本語訳の古典や資料を読む活動を行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公民・政治・経済	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3 年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、良識ある公民として公正に判断できる。
使用教科書 副教材等	政治・経済(東京書籍) 政治・経済ワークノート(東京書籍)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
趣旨	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとする。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現することができる。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができる。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、それらの知識を活用することができる。
評価割合	25%	25%	25%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
前期	第1章 現代の政治 第2章 現代の経済	・授業での行動観察 ・課題提出	・定期考査等 ・課題提出
		12.5%	12.5%
	資料活用の技能	知識・理解	
	・授業での行動観察 ・定期考査等	・定期考査等 ・課題提出	
後期	第2章 現代の経済 第3章 現代社会の諸課題	・授業での行動観察 ・課題提出	・定期考査等 ・課題提出
		12.5%	12.5%
	資料活用の技能	知識・理解	
	・授業での行動観察 ・定期考査等	・定期考査等 ・課題提出	
		12.5%	12.5%

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1章 現代の政治 1節 民主政治の基本原理 ① 民主政治の成立 ② 基本的人権の確立 ③ 現代の民主政治 ④ 世界のおもな政治体制 2節 日本国憲法の基本原理 ① 日本国憲法の制定と基本原理 ② 基本的人権の保証 ③ 平和主義	16
	5	3節 日本の政治機構 ① 国会と立法 ② 内閣と行政 ③ 裁判所と司法 ④ 地方自治 4節 現代政治の特質と課題 ① 戦後政治と政党 ② 選挙と政治意識 ③ 世論と政治参加	
	6	5節 現代の国際政治 ① 国際政治の特質 ② 国際社会と国際法 ③ 国際連合の役割と課題	
		前期中間考査	1
		第2章 現代の経済	14
		1節 現代の資本主義経済 ① 資本主義体制の成立 ② 資本主義経済の発展と変容	
	7	2節 現代経済のしくみ ① 経済主体と経済の循環 ② 生産のしくみと企業 ③ 市場経済の機能と限界 ④ 国民所得と経済成長 ⑤ 金融のしくみと機能 ⑥ 財政のしくみと機能	
	8	3節 日本経済の発展と産業構造の変化 ① 経済再建から高度成長へ	
	9	② オイル・ショック後の日本経済 ③ 日本経済の現状	
		前期期末考査	1
	前期の学習のまとめ	3	
後期	10	4節 福祉社会と日本経済の課題 ① 公害と環境保全 ② 消費者問題 ③ 農業・食料問題 ④ 中小企業の現状と課題 ⑤ 雇用と労働問題 ⑥ 社会保障と福祉	16
	11	5節 国民経済と国際経済 ① 貿易と国際収支 ② 国際経済体制の展開	
	12	後期中間考査	1
		③ 発展途上国の経済 ④ 地域主義の動き ⑤ グローバル化する世界経済	5
	1	第3章 現代社会の諸課題 1節 日本社会の諸課題 ① 地域社会を活性化するにはどうすればよいか？ ② どのようにして若者の労働環境を改善するか？	10
	2	2節 国際社会の諸課題 ① 経済援助は貧困を削減できるか？ ② パレスチナ問題とは何か？	
		後期期末考査	1
3	後期の学習のまとめ	2	

5 その他

現代政治は多種多様な視点から現代の諸現象を分析する科目です。

特に、前期では国家はどうやって作るか、なぜ国家は個人の権利に介入できる/介入できないのかという視点を持ち、後期では数学的な発想から現代社会の諸現象をとらえることを主な活動とします。